

ごあいさつ

日立グループは2006年11月、新たな経営方針を策定いたしました。2009年度をターゲットに、「マーケット・インを貫き、利益の創出に徹する」という基本方針を掲げ、その断行を約束したものです。この経営方針に基づき、ステークホルダーの皆様のご期待に応えていきます。

そのために、「FIV*に基づく管理徹底による高収益経営」、「安定的な高収益構造の構築」「高収益化に向けたグループ経営の進化」、「協創によるイノベーションの創出」を4つの基本施策**として打ち出しています。

日立グループは2010年に創業100年を迎えます。この一世紀に亘り日立グループは「技術を通じて社会に貢献する」を企業理念として発展してきました。この節目の年を前に、私たちは変革に向けた意識の徹底と、日立グループの幅広い技術やノウハウを掛け合わせることによるイノベーションによって、「真の総合力」を発揮し、お客様、株主の皆様そして社会に喜んでいただくことのできる、より高い付加価値を備えた企業をめざしていきます。

この高い付加価値を創造するにあたり必須となる研究開発、および研究開発の成果としての知的財産について、今回で4回目となります「研究開発および知的財産報告書」を報告させていただきます。

是非この報告書をご一読いただき、「研究開発」「知的財産」に対する日立グループの考え方と取り組みをご理解いただくとともに、引き続き、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2007年6月

取締役 執行役社長

古川 一夫

* FIV(Future Inspiration Value)：税引後事業利益から資本コストを控除した経済的付加価値をベースにした日立独自の付加価値評価指標。
** http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2006/11/1116/f_1116pre.pdf
http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2007/05/f_0528a.pdf